

酒田・飽海 水稲直播情報

No.2 茎数確保対策号
令和4年5月25日 発行

酒田農業技術普及課
酒田市若浜町 1-40
TEL: 0234-22-6521
FAX: 0234-22-6522

苗立ち数足りない場合は、追肥対応と水管理で分けつ促進

播種後は比較的穏やかな天気恵まれ、苗立ちは概ね順調のようです。5/25現在で普及課が調査している湛直圃場(5/3播種)の苗立ち数は138本/m²、葉齢は2.3葉、乾直圃場(4/7播種)は苗立ち数233本/m²、葉齢1.8葉です。それぞれ圃場の苗立ち状況に応じて、追肥や水管理により目標茎数の早期確保に努めましょう。

1. 「湛水直播栽培」の生育診断・対応技術

① 苗立ち数の確認

まず苗立ち数を調査し、目標に達しているかを調査しましょう(表1)。圃場の中でも、水口側と水尻側など場所によって苗立ち数に差があることもあります。複数の地点を調査し、全体の苗立ち数を判断しましょう。

苗立ち数の不足は最終的な穂数不足に繋がります。苗立ち数が不足している場合は追肥を行い、茎数の確保に努めましょう(表2で説明)。

表1 播種方式別の目標苗立ち数

目標苗立ち数	播種方式	苗立ち数の目安	
80~120本/m ²	条播	1m当たり33本以上	
	点播	60株/坪	5~6本/株
70株/坪		5本/株以上	

② 追肥対応

苗立ち数が目標に達していない場合は追肥を行います(表2)。まず、3葉期に一度追肥を行い、浅水で管理して分けつを促進しましょう。

その後、5葉期にもう一度茎数を調査し、目標茎数(270本/m²以上)に達していない場合は再度追肥を行います。

表2 目標茎数と追肥の目安(窒素量:kg/10a)

3葉期		5葉期	
80本/m ² 未満	1.0	240本/m ² 未満	2.0
80~120本/m ²	なし	240~270本/m ²	1.0~1.5
120本/m ² 以上	なし	270本/m ² 以上	なし

③ その後の管理

分けつを促進するため、昼夜の温度較差を維持するよう水深3cm程度の浅水管理(日中浅水、夜間灌がい)を行います。深水管理では初期分けつが抑制されるため、苗立ち数が足りていない場合は特に水管理に注意しましょう。その後、目標茎数(6/30までに600本/m²程度)に達したら中干しを行い、過剰分けつを抑制しましょう。特に表面播種の場合、中干しは登熟期間の倒伏を防ぐ効果もあるので、確実にいきましょう。

2. 「乾田直播栽培」の生育診断・対応技術

① 苗立ち数の確認と対応

乾田直播の目標苗立ち数は 120～150 本/m² (1mに 24～30 本) です。目標に達していない場合や、生育不足が予想される場合は、硫酸等の速効性肥料で窒素成分 1 kg/10a 程度追肥しましょう。また、漏水により除草剤の効果が安定しなかったり、稲に薬害が出るなどの問題が起きることがあるため、漏水対策も併せて行いましょう。

② 入水前の除草剤の使用

使用する薬剤によって、稲の適用葉齢や雑草の適用葉齢、有効な草種が異なるため（表3）、散布者は薬剤のラベルをよく確認し、責任を持って使用しましょう。また、薬液の飛散（ドリフト）による周辺作物への影響にも十分注意しましょう。

表3 乾田直播で使用する主な残存雑草除草剤（入水前）

除草剤名 (使用回数)	適用雑草名	10a 当たり薬量 (散布液量)	使用時期	使用方法	留意点
クリンチャー EW (2回以内)	一年生イネ 科雑草	100ml/10a (70～100ℓ/10a)	播種後10日 ～ノビエ5葉 期(但し、収 穫30日前ま で)	雑草茎葉 散布または 全面散布	<ul style="list-style-type: none"> 落水して散布する。 水 70～100ℓ に展着剤を加用し、本剤をよく溶かし、噴霧器等でノビエの茎葉によく付着するように散布する。 周辺にトウモロコシ、ソルゴー等のイネ科作物やキャベツがある場合は飛散に注意する。 発生中のノビエのみに有効である。
クリンチャー バス ME 液剤 (2回以内)	一年生雑 草、マツハイ、 ホタルイ、ウリカ ワ、ミスガヤツ リ、ヘラオモダカ	1000ml/10a (70～100ℓ/10a)	播種後10日 ～ノビエ5葉 期(但し、収 穫50日前ま で)	乾田・落水 状態で雑草 茎葉散布 または 全面散布	<ul style="list-style-type: none"> イネ5葉期以前は、薬害の恐れがあるので注意する。 展着剤は加用しない。 散布前に落水し、田面水がない状態で散布する。 散布後少なくとも3日間は入水しない。 周辺に他作物がある場合は飛散に注意する。
ノミニー液剤 (1回以内)	一年生雑草	100～200ml/10a (100ℓ/10a)	播種後10日 ～ノビエ5葉 期(但し、収 穫60日前ま で)	乾田状態 または落水 して雑草 茎葉散布	<ul style="list-style-type: none"> 展着剤は加用しない。 散布後6時間以内に降雨があると効果が低下するので、晴天時に散布する。

③ その後の管理

入水後に雑草がみられる場合は、残存雑草除草剤の使用を検討しましょう。乾田直播の場合、田面を締める目的での中干しは必要ありません。しかし、生育が過剰な場合は中干しを行い、無効分げつを抑制し過剰生育による生育後期の凋落を防止しましょう。

STOP！ 農作業事故！

これから暑くなります！水分、休息をしっかりととりましょう！



農薬は適正に使用しましょう！

★農薬のラベルは必ずよく読み、定められた使用方法で！
★生産の履歴の記帳、農薬飛散の防止、防除器具の洗浄を徹底！